



寒さが厳しくなってきました。遊具に氷や霜が張るようになり、園庭に出るとまずは氷が張っているかチェックすることから遊びが始まります。「いつまでも溶けないようにするねん」と氷を入れたバケツに水を入れたり、「キラキラしてきれい〜！」と氷の綺麗さを声に出したかと思うと、たっぷり砂をつけてびっくり！「からあげ！」と言ったりして遊んでいます。子ども達の考えや発想が面白くてかわいいなあと思います。

☆ボールあそび☆

自分のボールを使っていた遊びから、数人で集まり「ボールをひとつにしてこれで鬼ごっこをしよう！」と新しい遊びが始まりました。どういうこと？とわからない子ども達と一緒に尋ねると、「タッチの代わりにボールを投げて当てることにしよう！」と考えを説明してくれました。はじめは園庭全部を使って遊んでいましたが、なかなか当たらない…。帽子取りの時と同じように、線を引いて範囲が決まりました。次は「私ばかり狙われて嫌や！」と泣きだす子が出てきました。泣いている友達に「たぶん気づいてないだけで他の人のことも追いかけてたで…」や「鬼ごっこって自分が追いかけていて近くにいる人を狙うやん、だから仕方ないやん！」などと自分たちで思ったことを話し合っていました。そして「私ばかり…」と言っていた子が考えたのが、砂場の横にあるハウスの中に隠れること。すると「隠れたらあかん！当てられへんやん！」と言われ、もっと小さな範囲ですることに決まりました。その姿を見て、私は「あ〜、こうやって中あてに発展していくんだらうな〜」と思いました。この後小さな丸の中に「鬼が入って外にいる人に当てる」か「逃げる人が中にいて鬼が外から当てるか？」などいろいろな方法を試していく中で、中あてに発展しました。そして、遊びをつくっていった子ども達だけでなく、クラス全体に説明してみんなで遊ぶことで知らなかった友達も楽しむようになりました。中あてやドッジボールというものは「ルールはこうです」と学校や知っている兄姉から教わって遊ぶものだと思いがちですが、こうやって自分たちで遊びながらルールや遊び方を考えて試してつくっていくことを通して大事な力を培っているのです。

その後も、外から当てたら復活できるルールやチームで勝負するなどまだまだ発展しています。今度はドッジボールの遊びが見えてきたような気がします。どんな遊びになっていくのでしょうか？

この他にも「バスケットボールをしよう」と始まった遊び。もちろんバスケットなんてほとんどの子ども達は知りません。そこで考え出したのが、ボールをもったまま歩いてはいけないトラベリングから生み出された、「ボールを持ったら5歩しか歩いてはいけない」というラグビーとバスケットボールをミックスしたような遊びが生まれてきました。この5歩ラグビーの遊びにも子ども達が考えた工夫や、友達に伝えようとする姿がいっぱいあります。子ども達の考えるボール遊びは進化中です！

19日は音楽会〜♪

みんなで声を合わせて歌を歌うこと、楽器を合わせて鳴らすことを楽しんでいます。また年長になって新しく出会う楽器に目をキラキラさせ、「これ使っている？」と、いろいろな楽器の音色を楽しんでいます。

1年間通して季節の歌や子ども達が大好きな歌は歌っていますが、毎年音楽会の時期には「このクラスでどんな歌が歌いたいかなあ？」と考えます。子ども達に送りたい言葉、感じて欲しい気持ち…そんなことも考えながら、今年はこの「**勇氣百倍ふりしぼって**」という歌にしました。遊びや生活の中でたくさんの『やった〜！！』を感じている子ども達。友達と支え合いながら、困難なこともちょっと悲しいことも乗り越えていくたくましい姿…そして、『**未来は僕らの手の中！**』今のそう組の子ども達にピッタリ！！

歌詞も載せておきますので、歌詞を知ってもらって子ども達の歌声とそう組の子ども達の姿がピタッと合えば嬉しいです。

☆歌①「勇気百倍ふりしぼって」歌詞☆



- 1、僕の嫌いな にんじんだけど
勇気百倍ふりしぼって ひとくちサイズ
涙ポロポロ こころハレハレ
勇気百倍ふりしぼって お腹の中へ
頭を撫でられ ほめられちゃった やったー！
- 2、ケンカしたけど なぜか気になる
勇気百倍ふりしぼって そばにゆけど
喉はカラカラ 頬はヒクヒク
勇気百倍ふりしぼって 声をかければ
明日もまたねと さよならした やったー！
- 3、木の葉を散らす 雨風の中
勇気百倍ふりしぼって 飛び込んでいく
空まで高く 腕を振り上げ
勇気百倍ふりしぼって 拳にぎれば
みんなの笑顔が 溢れ出した やったー！
- 4、今日も明日も 最初で最後
勇気百倍ふりしぼって あたってください
それゆけ僕ら 泣き虫王子
勇気百倍ふりしぼって 明日にジャンプ
未来は僕らの この手の中 やったー！

☆歌②「うさぎ野原のクリスマス」☆

もう1曲は何にしようと子ども達に相談した中の1曲がこの曲。他の候補曲とずいぶん悩みましたが、「クリスマスが近いからこの曲にしよう！」と決めました。サンタクロースに会ったお楽しみ会、サンタクロースの絵をかくとき、クリスマスツリーをつくる時、子ども達が鼻歌のように何気なく歌いだすのがこの、うさぎ野原のクリスマスです。歌詞を知っていく時に、「プレゼントをお願いするんだって、うさぎは何をもらうのかな？」と話し合いながら進めました。そう組ではいつも、歌詞を教えるのではなく、その歌の物語を感じたり考えたりしながら歌詞を知って歌っていきます。時にはピアノでそのフレーズを弾き、ここでなんて言っただろうね？など尋ねながら歌ったりもします。「うさぎやから人参やわ、きつと」→「ひと冬分の人参やって…なんでやる？」→「あー！動物は冬眠るからごはんを取りにいかれへんからやな！」など一つ一つイメージして納得しながら歌っています。

とてもかわいい曲なので、おうちの方も覚えると口ずさみたくなると思いますよ！

☆③カスタネット「ぼくのミックスジュース」

みんなのつどいで、たくさんの幼稚園の友達と心を合わせて演奏したカスタネット奏にもう一度チャレンジします。担任の私は、みんなのつどいを無事終わるとホッとして忘れてしまっている部分もたくさんありましたが、子ども達は一生懸命練習した記憶はしっかりと残っているのですね。久しぶりに音楽をかけても体が勝手に動きだします。広い体育館では遠くにしか見えなかったと思うので、音楽会ではかわいい姿をしっかりと堪能してくださいね！



☆④合奏 「勇気100%」

使ったことのある打楽器に加えて、大太鼓・小太鼓・シンバル、そして音階のあるピアノカ・木琴・鉄琴というメロディ楽器を使って合奏します。まずは使ったことのある打楽器でどんなリズムが打てるかな？とみんなで遊んでみました。はじめは歌を歌うリズムに合わせてみんながジャンジャン鳴らしていました。でもそれでは聞いていると耳が痛い！おやすみすることも大事だということや、音を鳴らす時も、おやすみする時も同じ楽器の友達と合わせると素敵だと思うということに気がきました。

それでは、同じ楽器の友達とリズムを考えてみよう！というところから始まりました。降園時にもお話したように『りんご』と3拍、『いぬ』と2拍、『ラーメン』と八分音符が入ったリズムなどを打つことを言葉を探しながら楽しんでいました。次に、はじめて触るメロディ楽器。ドキドキワクワクしながらちょっと音をだしてみても友達と嬉しそうに顔を見合わせていました。メロディ楽器はそんなに簡単にできるものではなく、これから小学校に行きゆっくり音楽の時間に教わっていくことでしょう。だから今は、ほんのちょっとを『できた！』『楽しい！』と思えることを大事にしました。赤のドを4つ叩こう、橙のレを4つ…とソまでを4つずつ弾いて、ソファミレドと戻ってくると、「あ～！ひげじいさんが弾けた！！」と達成感いっぱい

なるような遊びをしてきました。打楽器はどんぐりころころなどよく知っていてわかりやすい歌で遊んできたので、合奏曲を決めようとなった時には「ひげじいさん!」「どんぐりころころ!」という声がいっぱいでした。でもすぐに終わってしまうから…となり、みんながよく知っている勇気100%に決めました。

ここからが大変! その日その日好きにリズム打ちを楽しんでも、このまま本番は迎えられません。自分たちが決めたことを覚えて、友達と合わせなければなりません。決められたリズムを毎日のように教えると、覚えてできるようになりかっこいい合奏ができあがると思います。けれど、友達と一緒に考えて、友達と合わせるということを大事にしています。そしてたくさんある楽器の中から自分がしたいものを選んでいきます。メロディ楽器が大好きになって選んだ子、友達とリズムを一生懸命考えて同じ楽器の仲間と合わせる喜びを感じて打楽器を選んだ子、リズムがずれるとみんながずれるという難しさを十分感じながら大太鼓・小太鼓を選んだ子。やりたい楽器がいっぱいで一番したいものが本番できなかった子もいます。何度も交代しながら、どうすればいいか?とみんなで話をして本番の楽器を決めていきました。30人それぞれがその楽器を選んだ理由があります。どの楽器がいいとかすごいではなく、それぞれの楽器に思いをもって取り組んでいる姿を応援してやってくださいね。



☆アンコール☆

「アンコール!」と声があがることを想定して…、子ども達と準備をしています。みんなでハンドベルを使って、きらきらぼしを演奏しようと思います。ひとつの音を数人で鳴らすので、友達と顔を見合わせてタイミングを合わせようとしていたり、違う時に音を鳴らしてしまいそうになっている友達のベルを手で止めたりするなど微笑ましい場面も見られると思います。子ども達は、ベルも見て欲しい!とやる気満々になっていますので、合奏が終わったら『アンコール!』の声をお願いしますね!



☆みんなで歌おう「あわてんぼうのサンタクロース」☆

おうちの方もよく知っている歌「あわてんぼうのサンタクロース」を一緒に歌って、音を鳴らすことを楽しみましょう。5番まである曲ですが、お話のようになっているので子ども達も楽しんで5番まで覚えました。(5番はいろいろな音がでてくるので、なかなか覚えられていませんが…)

おうちの方はプログラムについている歌詞を見て歌ってくださいね!

歌に合わせて、いろいろな楽器を鳴らします。きっと張り切って踊ってくれることでしょう。おうちの方も家にある音のなるもの(鍋の蓋、お玉などキッチン用品や、箱や筒などの素材など)を持ってきてください!一緒に“歌って”“鳴らして”“踊って”…全身を使って音を楽しみましょう!